

○地方創生加速化交付金および推進交付金の効果検証について

交付対象事業の名称	事業費 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)				本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
		指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
廃止された河内町給食センターを利用した「米ゲル」大量生産プラントの開発・設置・実証実験事業	77,500,000	指標①	米ゲル生産(月)	3	t	H29.3	10	地方創生に相当程度効果があった	有効であった	<b>*別紙有識者会議参照</b>	事業の継続	世界初の米ゲル量産工場を稼働し、いろいろな食品メーカーにサンプルを送った結果、メーカー側もサンプルで新商品開発を進め、米ゲルの用途開発や要求品質が明確になってきた。今後は、これらのニーズに対応するとともに、様々な業界にPRをして需要拡大を目指したい。
		指標②	売上(月)	150	万円	H29.3	560					
		指標③	雇用	3	人	H29.3	8					
寄贈された古民家を活用した情報発信拠点及び地域産品食堂を中心とした「小さな拠点」事業	12,446,250	指標①	食堂:集客(月)	100	人	H29.3	1,032	地方創生に効果があった	有効であった		事業の継続	平成28年12月にオープンし、町民の方々には町施設としてのコミュニティの場・くつろぎの場が新たに出来たことを認知頂けたと思われる。今後は町外の方に向けて、古民家を再生し「小さな拠点」として新たに事業を開始した地域再生モデルとしてPRすることで、人々の関心を高め長竿亭を訪れるきっかけを創りたい。
		指標②	来訪:集客(月)	200	人	H29.3	1,200					
		指標③	サイトアクセス(月)	300	件	H29.3	-					
		指標④	雇用	5	人	H29.3	7					
米ゲル事業のPR及びマーケティング並びに6次化産品開発(内、6次化産品開発はH29年度へ繰越)	20,000,000	指標①	米ゲル生産	10	t	H29.1~3	20	地方創生に効果があった	有効であった		事業の継続	「米ゲル実験プラントでの検査・殺菌・流通・保管技術等開発事業」によって米ゲルの異物混入検査技術の開発と保管・殺菌・冷却技術の開発を行い品質の安定に効果を発揮している。また、フードテックジャパン2017(国際食品・飲料展)に米ゲル及び6次化産品を出展し、新規引合いやサンプル希望が多数あった。
		指標②	売上	300	万円	H29.1~3	560					
		指標③	雇用	9	人	H29.1~3	8					
廃校及び廃止施設利用による今後の利活用のための調査並びに計画並びに最初の取り組みであるトロン学校開校支援(内、トロン学校開校支援はH29年度へ繰越)	10,766,579	指標①	廃校を活用した学校の受講者数	0	人	H29.3	0	地方創生に効果があった	有効であった		事業の継続	平成28年9月に設置された「河内町小中学校再利活用審議委員会」が審議する廃校の利活用について、判断資料として大いに役立っている。
		指標②	廃校を活用した学校の生徒数	0	人	H29.3	0					
		指標③	イベント参加団体数	5	団体	H29.3	0					